

フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会
フューチャー・アース国内連携分科会（第3回）
議事録（案）

日時：令和元年12月26日（木） 17：15－18：45

会場：日本学術会議大会議室（2階）

出席者：江守委員、大西委員、沖委員（スカイプ出席）、春日委員、近藤委員、武内委員、竹中委員、谷口委員、花木委員、安成委員、山本委員

議題：

- （1） 前回国内連携分科会議事録の承認
- （2） フューチャー・アース日本委員会参加団体の紹介
- （3） 黒田かをり副委員長辞任の報告及び後任の選定
- （4） 2019年のフューチャー・アース日本委員会ならびに運営委員会の活動について
- （5） 国際事務局（グローバルハブ、アジア地域センター）からの報告
- （6） その他 イオン環境財団支援のシンポジウムについて

配布資料：

資料1 第1回議事録案

資料2 フューチャー・アース日本委員会の構成組織（春日委員）

資料3 Future Earth 国際事務局日本ハブからの報告（春日委員）

議事：

1. 前回国内連携分科会議事録の承認

- 前回議事録が承認された。

2. フューチャー・アース日本委員会参加団体の紹介

- 春日委員から、新規の参加希望団体が複数あることが報告された。2/1までに正式な参加申請があれば2/1の日本委員会で承認手続きが行われる。
- 武内委員長から、学術以外の団体の参加の伸び悩みが指摘された。

3. 黒田かをり副委員長辞任の報告及び後任の選定

- 黒田副委員長が公益認定等委員会委員（兼職禁止）に就任のため、日本学術会議

特任連携会員、当分科会委員ならびに副委員長を辞任した（メール審議で承認済み）。

- 武内委員長から、委員の追加をしないこと、現委員から副委員長を任命することが提案され、承認された。
 - 山本百合子委員が副委員長に就任した。
4. 2019 年のフューチャー・アース日本委員会ならびに運営委員会の活動について
- Future Earth のメンバーシップや活動におけるステークホルダーの参加について議論があった。Advisory Committee、Governing Council にステークホルダーが多数参加している。
 - Science-based pathways の議論でもステークホルダーの参加が期待される。
 - 特定テーマ（例：ネクサス）の研究でステークホルダーを巻き込める。
 - 産業界の代表的機関を巻き込むのは難しかった。SDGs には関心があるが、FE とはつながっていない。
 - 現場に入って信頼を得ていくことが重要。地域毎のネットワークも必要。
 - 研究プログラムの再編という側面と、社会課題を解決するという側面がある。
 - ローカルな現場とグローバルな問題がつながってきた。FE が志向してきたこと。
 - 武内委員長から、3 月までの間に分科会を開催して、例を持ち寄って理論化することが提案された。
 - 山本副委員長から、産業界への働きかけを行う意思表示があった。
5. 国際事務局（グローバルハブ、アジア地域センター）からの報告
- 春日委員より、資料 3 に基づき、日本ハブの活動について報告があった。人材的、財政的な持続性について問題提起があった。
 - 3/4-5 に京都で行われる FE Advisory Committee, Governing Council の会合に日本から数名のオブザーバ参加ができる。蟹江委員、植松委員、山本委員を推薦することになった。京都市の下間局長が候補に挙がった。
6. その他 イオン環境財団支援のシンポジウムについて
- 武内委員長より、2/1 に安田講堂にて開催される当該シンポジウムについて説明があった。

以上